

本人が発信！できる、ともに生き生き伸びていこう ～本人とこれまでの活動を振り返る～



いくつになっても笑顔で藤枝
～ みんなで支える地域の笑顔 ～

藤枝市 地域包括ケア推進課 認知症地域支援推進員 横山 麻衣
藤枝市 永井 三彦

藤枝市の概況

主要路線による交通の要衝

富士山静岡空港まで25分

産業:

茶やみかん等の農産物
地酒・スイーツ
乾しいたけの流通等
魅力ある産業が多数

面積: 194.03km²

- ・「ほど良く都会 ほど良く田舎」
- ・東海道の宿場町
- ・転入者により人口が増えているまち

気候: 比較的温暖

平均気温16.60℃【最高34.4℃ 最低-5.2℃】



A large graphic featuring a soccer player in a white and green uniform, captured in a dynamic pose as if kicking a ball. The background is a blue sky with the words "HISTORY", "PRIDE", and "DREAM" written in large, stylized white letters. The player is wearing a white jersey with green accents and a Volkswagen logo. A soccer ball is shown in the bottom right corner of the graphic.

藤枝の地に新たな風を巻き起こそう。

ふじえだから日本に元気を!
長谷部 誠 チャリティイベント IN FUJIEDA

6.12
- PASS THE MESSAGE -
supported by VOLKSWAGEN
※長谷部誠選手のご協力

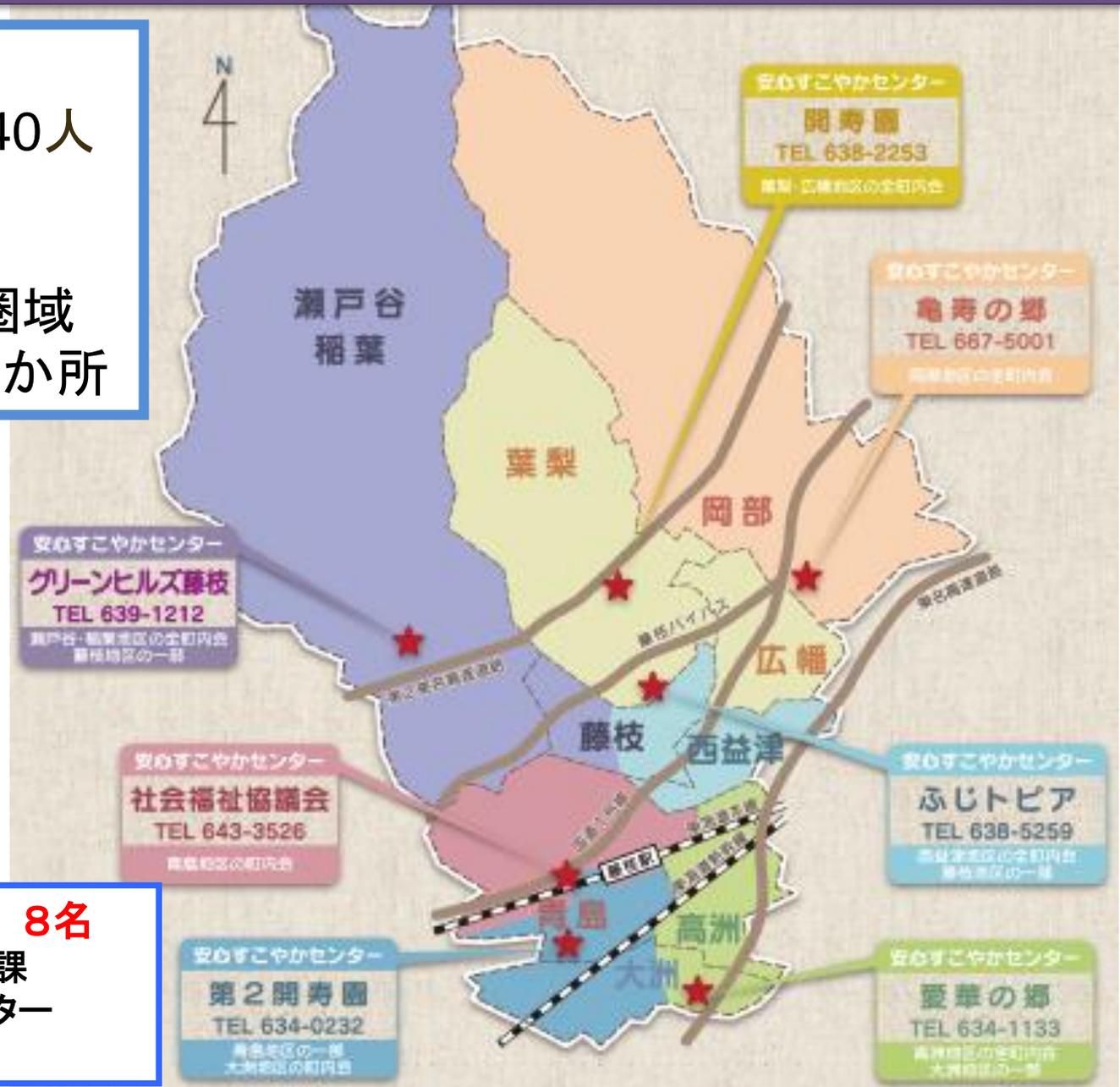
藤枝市
2007年7月20日
日本代表メンバー
長谷部 誠 選手

H23年度 藤枝市で開催される
全国規模のサッカー大会・イベント



藤枝市の概況

人口:144,175人
高齢者人口:43,240人
高齢化率:30.0%
(令和2年11月1日現在)
日常生活圏域:9圏域
地域包括支援センター:7か所



認知症地域支援推進員 8名
【専任】市地域包括ケア推進課
【兼任】各地域包括支援センター
(令和2年度～)

本人とこれまでを振り返りながら、
以下についてお話します。

 取組んできたこと

 「社会参加」

- **永井 三彦さん 62歳**
- 横浜市でS Eとして働いていた57歳の時に若年性認知症（脳血管性）と診断を受けた。
- 藤枝市に転居し、一人暮らしをしている。
- 市内のB型就労支援事業所で働いている。
- 趣味：読書・ゲーム（カード・通信）

永井さんがよく話していたこと

- 認知症の症状は人それぞれ。
正しく理解して欲しい。
- 働きたい！
とにかく仕事がない今の生活が
耐えられない！

この2つの思いを中心に
取り組んできたことを
永井さんにお話ししてまいります👂

伝えていきたいことを発信！

- 市役所職員や永井さんの住む地域の小学生や民生委員に、認知症の症状と生活の中での工夫や認知症とともに暮らす中での日頃の思いについて伝えた。
- 市の認知症施策推進会議に当事者の立場で出席し、意見交換を行なった。

本人が発信！



仲間とともに発信！

- 「ぶらり本人ミーティング」で本人同士で話し合っていることを地域情報誌に掲載し、広く市民に発信した。

若年性認知症の女性との出会い ～本人の声～

- 外に出たい気持ちはあるけど、自分が変な格好してないかなって心配で、準備するのが嫌になっちゃう。
- あれ？すぐに忘れちゃう。私ね、言葉が出なくて…だから知らない人とあまり会いたくない。変なこと言わないかなって…自信がない。
- (当事者の本) 読んだよ。
読んだけどね、私は“うーん”って思っちゃう“なんでなっちゃったんだろう…”って。
- (畑仕事) やってみたい気持ちがあるから教えてください。



本人(当事者)同士で
生活の工夫や外出しやすい環境を考えてみよう！

ぶらり本人ミーティング開催までの経緯

本人同士で話す



- ・外出について
- ・金銭管理(自分のお金を持つこと)
- ・やってみたいこと
- ・日頃の思い(服選びや言葉の出づらさ)
- ・診断されたときのこと
- ・本人同士の交流について

⇒本人同士でじっくり話す

私もはじめは誰に相談して良いか
分からなかった。
友達にも言えなかった。



当事者同士の出会いから
定期的な本人同士の交流の場へ

本人が発信！

～伝えたいことを届けよう～

HAPPY MEDIA 藤枝 地域みっちゃん生活情報誌。

ふじえ～ら

12
2020.No.081.2
発行価格
54,000円
定価税込 11,000円
発行部数 1,500部

地域のグルメや美容、求人等の情報が掲載されているフリーペーパー

巻頭特集

一足先に認知症になった私たちからあなたへ

できること、
やりたいことを
大切に

一足先に認知症になった
私たちからあなたへ

できること、
やりたいことを大切に

巻頭
特集



認知症とともに生きる

希望宣言

地元の求人情報が満載！

JIMO JOB ジモジョブ

GoToEatでお得に外食を楽しもう!!

グルメガイド

藤枝市お悔やみ情報

故人を偲ぶ

地域で広げよう！子育ての和

ふじえだ育G応援プロジェクト

藤枝に密着した生活情報誌を毎月無料でご家庭にお届けします！

 詳細は
添付資料参照

一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ
認知症とともに生きる希望宣言

1

自分自身がとらわれている常識の殻を破り、
前を向いて生きていきます。

2

自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、
社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。

3

私たち本人同士が、出会い、つながり、
生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。

4

自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、
身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。

5

認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、
暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

本人が発信！

居場所の人たちとの出会い ～ともに楽しむ～

(畑仕事) やってみたい気持ちがあるから教えてください。

忘れちゃうから難しいことは出来ないけど



何も趣味がないんだよね・・・
何かやりたいんだけど
体動かす事は好き
昔はマラソンもやってた！

ヨガは次いつあるって言って
た？ やってみたい！

樹木クラブの誕生！

居場所の人たちとの出会い ～ともに過ごす中での変化～

● 居場所の人たちとの出会いによって

- やりたいことを一緒にできる！
- その中で、自分の伝えたいことを（伝えたい人に）自分の言葉で伝える。
- （必要なのは支援者ではなく）これまでのような人との繋がり。

● 本人との出会いから、少しずつ発想の転換へ

- (ヨガ) どうしたら一緒に楽しめるかなあ。
- 「ともに」だね。
- (当事者は) 別に何かして欲しいとかじゃないよね。
- 本人と一緒に認知症のこと伝えていきたいよね。

就労までを振り返る

働くこと



社会参加について



これまでを振り返り、
「社会参加」について考える



これまでの事業や
新たな事業も
始まっている中で

社会参加について

「社会参加」について考える
～これからの推進員活動で大切にしたいこと～

- 原点は**個別支援**
- 本人にとって特別なことではない「**社会参加**」
ができる環境づくりを色々な人たちと繋がりな
がら、考えていきたい

色々な事業を抱える中で、
本人の社会参加（やりたいことをともに実現していく）に焦点を
当てて取組むことで、他の事業の考え方が整理されたり、
一体的に考えられたり、加速していく



“ために”から“ともに”へ ～認知症の人とともに築く地域～

